ヨハネによる福音書 3章1〜15節

3 [1]さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。[2]ある夜、
イエスのもとに来て言った。「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であること
を知っています。神が共におられるのでなければ、あなたのなさるようなしるしを、だれも行うこと
はできないからです。」[3]イエスは答えて言われた。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれな
ければ、神の国を見ることはできない。」[4]ニコデモは言った。「年をとった者が、どうして生まれ
ることができましょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるでしょうか。」[5]イエス
はお答えになった。「はっきり言っておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入
ることはできない。[6]肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。[7]『あなたが
たは新たに生まれねばならない』とあなたに言ったことに、驚いてはならない。[8]風は思いのままに
吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた
者も皆そのとおりである。」[9]するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と
言った。[10]イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分か
らないのか。[11]はっきり言っておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証(あか)ししている
のに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。[12]わたしが地上のことを話しても信じないと
すれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。[13]天から降(くだ)って来た者、すなわち人
の子のほかには、天に上(のぼ)った者はだれもいない。[14]そして、モーセが荒れ野で蛇(へび)を上げたように、人
の子も上げられねばならない。[15]それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。